



地域なんでも情報局

平成30年7月豪雨

第32号

平成30年9月14日発行
長崎市社会福祉協議会
長崎市上町1番33号
☎095-828-1281



これらの写真は、7/24～7/29の間、呉市災害ボランティアセンターに派遣された当会職員が撮影した被害の状況です。
もとどおりの地域の姿が復旧するには、まだまだ長い支援の力が必要です。

活動に向かうボランティアと
活動の注意点を伝えるスタッフ

この度の豪雨災害で亡くなられた方々にお悔やみ申し上げますとともに、
甚大な被害を受けられた皆さまに対し、心よりお見舞い申し上げます。

ボランティア活動を希望される方は、各市町村災害VCが発信している情報をご確認ください。活動参加にあたってのボランティア活動保険の加入は市社協ボランティア室（市民活動センターランタナ内）



野母崎・樺島支部
～ボリ袋を使った炊き出し訓練～

豪雨で大きな被害を受けた岡山・広島・愛媛各県をはじめ、各地には元の生活には戻れずにいる方がまだまだいらっしゃいます。今、私達にできることは何でしょうか。

♥現地で支援する

現在、被災地の各市町村社会福祉協議会では災害ボランティアセンター（以下「災害VC」という）を立ち上げ、土砂出しや家財道具の片付けといった被災された方々からの支援依頼を受け、ボランティアの方々との調整を行っています。現地でのボランティア活動を希望される方は、各市町村災害VCが発信している情報をご確認ください。活動参加にあたつてのボランティア活動保険の加入は市社協ボランティア室（市民活動センターランタナ内）

6月下旬～7月初旬にかけて西日本各地域を襲った豪雨被害のニュースに心を痛めた方も多かったのではないでしょうか。

長崎市でも7月には台風7号が直撃し、地区によつては停電被害が発生するなど、自然災害の脅威を改めて感じる夏となりました。

で受付けています。

♥寄付する

現地で活動するだけが支援ではありません。

中央共同募金会及び日本赤十字社では、災害により被災された方々への義援金を受付けてい

ます。義援金は全額が被災者の皆様へ被害状況に応じて分配されます。市社協（業務係）にて受付けておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

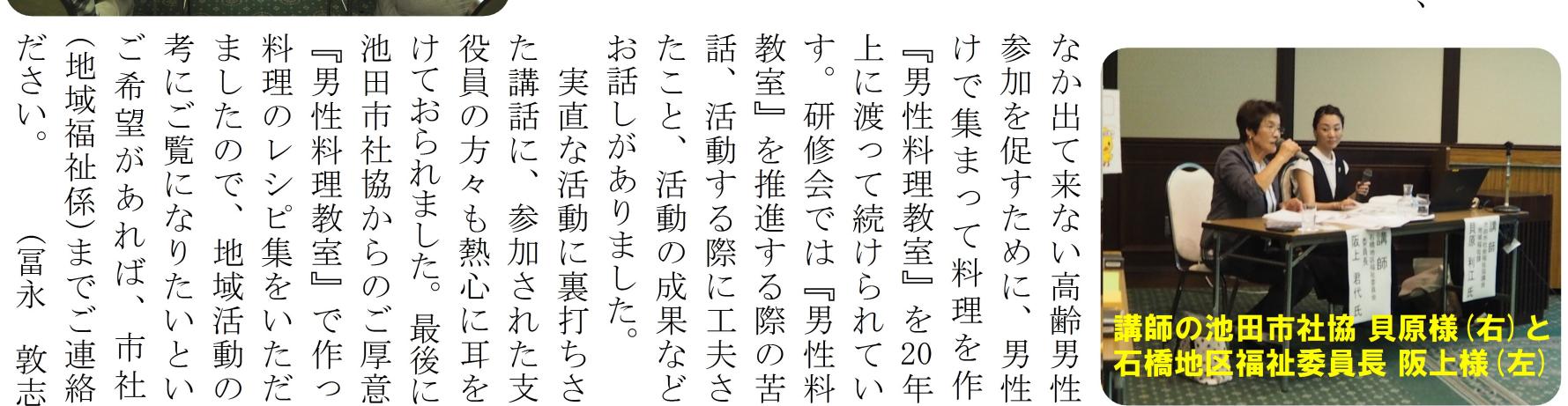
♥地域で備える

今回と同じような災害が明日私達の町で起こつたら何ができるますか？災害が起こつた時に備え、日頃からの訓練や準備が重要です。防災訓練の企画に関するご相談や講師の紹介など市社協でも協力・支援をしておりますので、お気軽にご相談ください。（末竹　このみ）



市内社協支部役員75名の参加がありました！

当会ホームページから「地域なんでも情報局」
バッケンバーがダウンロードできます！
『長崎市社協 地域なんでも情報局』で検索ください。



講師の池田市社協 貝原様（右）と
石橋地区福祉委員長 阪上様（左）

支部指導者研修会開催！

7月13日（金）にホテルセントヒル長崎にて『第31回支部指導者研修会』を開催いたしました。市社協では、社協支部の役員の方を対象に、地域福祉に関する研修会を年1回開催しておりますが、今年は高齢男性の地域活動への参加のきっかけづくりとして『男性料理教室』を実施している大阪の池田市社協から講師を招いて研修を行いました。

長崎市では、高齢者ふれあいサロンなど、高齢者の交流の場づくりが活発に行われておりますが、高齢男性の参加があまり芳しくなく、長年の課題となっています。池田市社協では、そういう地域の活動になか

なか出て来ない高齢男性の参加を促すために、男性だけで集まって料理を作る

『男性料理教室』を20年以上に渡つて続けられています。研修会では『男性料理教室』を推進する際の苦労話、活動する際に工夫されたこと、活動の成果などのお話しがありました。

実直な活動に裏打ちされた講話に、参加された支部役員の方々も熱心に耳を傾けておられました。最後に、池田市社協からのご厚意で『男性料理教室』で作つた料理のレシピ集をいただきましたので、地域活動の参考にご覧になりたいというご希望があれば、市社協（地域福祉係）までご連絡ください。（富永 敦志）

琴海支部

森さゆりさん



発見！地域の中の☆キラリピト☆

琴海支部で高齢者ふれあいサロン『神上サロン』の代表をされている森さんにお話を伺いました。

いつでもはじけるような笑顔で迎えてくださる森さん。そんな森さんが『神上サロン』を立ち上げたのは、近所の方が次々と独居高齢者になり、何となく寂しい雰囲気が流れていたため、みんなが元気になれて楽しむことができる場所を作れたらいいな、と思つたことがきっかけだったそうです。今では、「近くの公民館でやっているなら」と普段外にあまり出ない方も顔を出され、毎回公民館中にみんなの笑い声が響き渡る。我が家のようなサロン”となっています。

また、神上サロンは、定年退職された男性が様々な作業を担っています。7月

琴海支部で高齢者ふれあいサロン『神上サロン』の代表をされている森さんにお話を伺いました。

いつでもはじけるような笑顔で迎えてくださる森さん。そんな森さんが『神上サロン』を立ち上げたのは、近所の方が次々と独居高齢者になり、何となく寂しい雰囲気が流れていたため、みんなが元気になれて楽しむことができる場所を作れたらいいな、と思つたことがきっかけだったそうです。今では、「近くの公民館でやっているなら」と普段外にあまり出ない方も顔を出され、毎回公民館中にみんなの笑い声が響き渡る。我が家のようなサロン”となっています。

地域の方々の心でつながるサロンがこれからも続いていくことを願っています。

(中川 理絵)

は、男性陣力作のそうめん流し機を使つて盛大にそうめん流しが行われました。

「当初、男性はサロンに1人参加されていませんでした。特に男性の方は、何かしたい、持つてる力を活かしたいと思っていても、女性に比べて人のふれあ

いが少ない方もいて、何をしたらいいのかわからないから家にずっといる方が多い。」と話される森さん。

そのような男性に声をかけることで、サロンにとつても参加者にとつても大きな力になり、さらには男性にとっても活躍できる場があることでより元気になられているということができました。

このように、高齢の方や元気な男性の方などがそれぞれに持たれている力を引き出されている森さんは、相乗効果で地域全体がどんどん元気に活性化してほしいと話されます。そして、森さんは何より、声をかけられた後は、サロンスタッフが中心となり、年間活動計画の作成など立ち上げの準備を進めてきました。

サロンの目的・効果として、



出津ゆうゆうサロン



今年7月、長崎・天草地方の12の資産で構成される『長崎シタン関連遺産』の世界文化遺産の登録が決定した事は記憶に新しいと思いますが、今回は、そのうちの一つ、外海の出津地区で新たに誕生した高齢者ふれあいサロン『出津ゆうゆうサロン』をご紹介します。

『出津ゆうゆうサロン』は、今年度より、外海支部の新規の高齢者ふれあいサロンとして立ち上がり、月に一度、下出津公民館で活動をされています。7月の会合では、地元の特産品である『ド・ロさま』を囲みながら、市社協からサロンの効果を説明させていただき、地域包括支援センターからは健康講



話・体操といった高齢者に役立つ情報を交えて、和気あいあいとした雰囲気の中、開催されました。

みんないで協力しながら、上げるサロンへ

子ども会と交流！白木ふれあいサロン



愛宕団地支部



白木ふれあいサロンでは、8月10日（金）に子ども会と合同で精霊船作りとそうめん流しが行われました。このサロンには、NPO法人環境保全教育研究所（別名：へんちくりん）も携わっており、当日は代表理事の豊田さんを中心に活動が進められていきました。

すると、そうめん流しが始まります！水の勢いが良く、猛スピードで流れが自由に絵を書き、精霊船を華やかに負けじと食らいついでいます。その裏では、大人たちが精霊船の完成に向けて、着々と作業を進めています。

この活動は、白木ふれあいサロンの恒例行事になりました。なつており、愛宕団地支部小柳支部長は「子ども達との交流と地域の伝統を大事にして行つていい」とおっしゃっていました。

精霊流しは長崎の伝統行事です。その伝統を大 행사です。その伝統を大切にしている姿は、とても誇らしいものでした。

（佐々野 由佳）

